

その時京都が動いた

～江戸から明治へ～



開講
期間

2017年5月20日(土)～2018年1月20日(土) [基本講座10回]

午前コース 10:00～11:30 (受付 9:30～)

午後コース 12:30～14:00 (受付 12:00～)

定員各250名

※2017年度は2コースにして定員を多くしました。各コースとも講義内容は同じです。

開講
会場

キャンパスプラザ京都
(4階第2講義室)

※開講記念講座・実地講座は、時間・会場が異なります。

開講記念講座 3/11(土)

「肚(はら)を失くした日本人」

榎木 孝明氏(俳優・画家) / 八木 透氏(佛教大学 歴史学部 教授)

第1回
5/20
(土)

京都の変革期一
中世・近世から近代への景観の変容
～秀吉の都市改造・聚楽第城から藩邸の形成へ
天野 太郎氏(同志社女子大学 現代社会学部 教授)

第2回
6/3
(土)

伏見「首都」計画
～豊臣秀吉の政権中枢と社会構想
梅林 秀行氏(京都高低差産会 産長)

第3回
6/24
(土)

二条城とは何か
～家康と家光(秀忠)の視点を中心に
後藤 玉樹氏(京都市文化市民局元離宮二条城事務所 担当課長)

第4回
7/29
(土)

徳川家康と知恩院
今堀 太逸氏(佛教大学 歴史学部 教授)

第5回
9/2
(土)

鴨川の改修と歓楽街の誕生
吉越 昭久氏(立命館大学 名誉教授)

実地講座1
7/15
(土)

二条城探訪
松本 直子氏(京都市文化市民局元離宮二条城事務所 学芸員)
後藤 玉樹氏(同 担当課長)

※実地講座は別途お申込みと参加費が必要です。

第6回
9/16
(土)

禁門の変と幕末京都
～戦災とその実態
笹部 昌利氏(京都産業大学 文化学部 助教)

第7回
10/14
(土)

大政奉還とは何か
青山 忠正氏(佛教大学 歴史学部 教授)

第8回
11/18
(土)

神仏分離
～(寺院)と(神社)の明治維新
青谷 美羽氏(京都造形芸術大学 非常勤講師)

第9回
12/9
(土)

画家たちの明治維新
田島 達也氏(京都市立芸術大学 美術学部 教授)

第10回
1/20
(土)

京都の学校事始め
～学都京都の誕生 校舎の建築からみる
川島 智生氏(京都華頂大学 現代家政学部 教授)

実地講座2
12/2
(土)

歴史都市伏見の町と建築を歩く
～濠川と酒蔵街を高低差からみる
川島 智生氏(京都華頂大学 現代家政学部 教授)
梅林 秀行氏(京都高低差産会 産長)



日本はその長い歴史の中で、幾度となく激動の時代を経験してきました。京都は長きにわたって都であったがゆえに、直接・間接に、常にその影響を受けてきたといえるでしょう。本年度は、京都が大きく揺れ動いた歴史事象を取り上げます。特に織豊時代から明治初期にかけてのできごとは、その痕跡が現代までも残っていることが多いと思います。よって対象をその時代に限定し、京都の怒涛の歴史のありさまについて考えてみたいと思います。

京都学講座「その時京都が動いた」申込方法

京都学講座「その時京都が動いた」は、京カレッジの講座の一つです。

基本講座10回と実地講座の受講を希望する場合は、「京カレッジ生」としてのお申込みが必要です。

◆資料請求及び申込方法

◇申込上の注意:2017年度は「午前コース」、「午後コース」の各定員を250名と多くしております。どちらかのコースにお申込みください。どちらも同じ講義内容です。各コースとも定員を超過した場合は抽選で受講の可否を決定します。また、出願後のコース変更、開講後の他コースの受講はできませんのでご注意ください。

◇受講料:10,000円(基本講座10回)

※実地講座は別途費用が必要です。

◇申込方法:「京(みやこ)カレッジ生募集ガイド」(3月上旬配布開始)添付の出願票でお申し込みください。

《募集ガイド請求方法について》

郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号を、メール、郵便はがき、FAX、もしくはホームページの請求フォームにて、大学コンソーシアム京都へお知らせください。以下の配布先でも入手できます。

【募集ガイド配布先】

キャンパスプラザ京都、京都市役所・区役所・支所・京都市の図書館等で配布予定

◇提出書類:①出願票1部

②京(みやこ)カレッジ会員証用顔写真(縦3cm×横3cm)1枚 ※募集ガイドに同封の出願票提出確認シートに貼付してください

◇提出期間:《郵送》2017年3月7日(火)～18日(土) 必着

※持参する場合は3月17日(金)・18日(土)の10:00～16:00の間で、キャンパスプラザ京都にて受け付けます。

◇提出先:大学コンソーシアム京都【京(みやこ)カレッジ担当】

【注記】

①申込方法の詳細や注意事項は「京(みやこ)カレッジ生募集ガイド」にてご確認ください。

- ②受講可否の連絡は4月末迄に郵送いたします。
- ③受講可否についてのお問い合わせはご遠慮ください。
- ④一旦ご入金いただいた受講料・参加費は返金いたしません。ご了承ください。
- ⑤大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生(ただし大学院・通信教育課程生等を除く)および、放送大学京都学習センター全科履修生は受講料無料です。学生証のコピーを出願票に必ず添付してください。

【京(みやこ)カレッジについて】

「京(みやこ)カレッジ」とは、京都市と大学コンソーシアム京都が主催する生涯学習事業です。大学の正規科目が受講できるほか、「市民教養講座」といった大学の公開講座など300を超える科目・講座を提供しています。詳しくは「京(みやこ)カレッジ生募集ガイド」または京(みやこ)カレッジホームページをご覧ください。

【1回ごとの受講について】

各講義1回ごとの受講はできません。ただし、大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生は1回ごとの受講が可能です。下記をご覧ください。

大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生は
1回毎の受講が可能です(無料)

「加盟校正規学生」とは大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生(ただし大学院・通信教育課程生等を除く)および放送大学京都学習センター全科履修生です。1回ごとの受講をする場合は、希望する講座(実地講座以外)の日時に直接会場へお越しの上、受付で学生証を提示してください。受講料は無料です。会場定員を満了した場合等、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。実地講座への申込みは京カレッジ生として、基本講座に申込み必要がありますので、学生証のコピーを必ず添付して、左記の申込方法にて期間内に出願をしてください。

■お問い合わせ・資料請求先

大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当
The Consortium of Universities in Kyoto お問合せ受付時間:9:00～17:00(日・月曜除く)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都1階

TEL. 075-353-9140 FAX. 075-353-9121

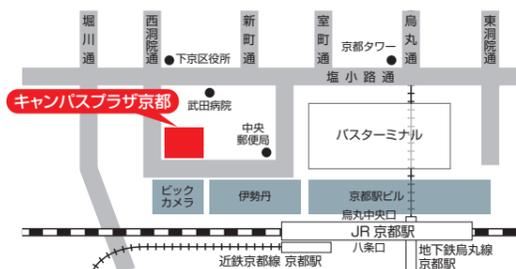
E-Mail: miyakare@consortium.or.jp

http://www.consortium.or.jp/

京カレッジ 検索

個人情報の取り扱いについて

提供いただいた個人情報は「京カレッジ」に関する運営(諸連絡や募集ガイドの郵送等)で使用するもので、その他の目的で使用することはありません。



京都市営地下鉄・JR・近鉄「京都駅」から徒歩7分程度。
京カレッジの大学の講義や公開講座は主に大学キャンパスまたはキャンパスプラザ京都で開講されます。通学にはバス・地下鉄等公共交通機関をご利用ください。

みやこ 京カレッジ京都力養成コース京都学講座 「その時京都が動いた」 開講記念講座

京カレッジ・京都学講座のオープニング企画として特別講座を開講します。特別講座では、数々の歴史上の人物を演じられている俳優・画家の榎木孝明氏による講演と、佛教学教授の八木透氏との対談を実施します。

日時 2017年3月11日(土) 13:30~15:00(開場 13:00) 「肚(はら)を失くした日本人」

明治維新は長い鎖国時代から日本が門戸を開放した正に文明開化でした。しかし、新しく西欧諸国から入った思想や文明と引き換えに、多くの日本精神文化が失われていったのも事実です。失ってしまった肚文化とかつての日本人の身体能力は現代どうなってしまったのか。皆様実際に古武術体験をしてみたいと思いませんか。

講師



榎木 孝明 氏 (俳優・画家)

武蔵野美術大学デザイン科に学んだのち、劇団四季入団。1981年『オンディーヌ』で初主演。1983年劇団四季を退団し、翌年のNHK朝の連続テレビ小説『ロマンス』の主演でテレビデビュー。以後、映画『天と地と』テレビ『浅見光彦シリーズ』『NHK大河ドラマ』、舞台などで活躍。絵と旅を好み、アジア各地を中心に世界の風景を描き続けている。



八木 透 氏

(佛教学 歴史学部 教授)

同志社大学文学部卒。佛教学大学院文学研究科博士後期課程単位取得。博士(文学)。専門は民俗学。著書『京のまつりと祈り みやこの四季をめぐる民族』(昭和堂)、他多数。祇園祭綾傘鉾保存会理事なども務める。

場所

キャンパスプラザ京都 (4階第2講義室)

申込方法

往復はがきにて下記のように記載の上、**2017年2月25日(土) 必着**にてお申込みください。結果は返信はがきにて2017年3月3日発送予定でご連絡します。

参加費

開講記念講座は **入場無料**

定員

250名(事前申込)
※応募多数の場合は抽選

| | | | |
|--|---|---|---|
| 往信(表面) | 返信(裏面) | 返信(表面) | 往信(裏面) |
| <input type="checkbox"/> 往信 〒6008216 京カレッジ京都学講座 キャンパスプラザ京都 下京区西陣南堀端小坂町 | <input type="checkbox"/> 返信 ※抽選結果を記入しますので何も書かないでください | <input type="checkbox"/> 返信 参加希望者の郵便番号、住所、氏名 | <input type="checkbox"/> 往信 ①「京都学講座 3/11その時 京都が動いたを受講希望」 ②受講希望者の ・住所 ・氏名(ふりがな) ・電話番号 |

記載不備の場合、また往復はがき以外のご連絡や1名1通でないもの、料金不足等の場合は受付できないことがありますのでご了承ください。

第5回
9/2
(土)

鴨川の改修と歓楽街の誕生

吉越 昭久氏 (立命館大学 名誉教授)



近世初頭、鴨川には初の本格的な堤防、「寛文新堤」が建設されました。その結果、鴨川周辺では川幅が狭くなったことに伴って河床が上昇し、洪水の被害が起きやすくなるなど、様々な変化が引き起こされました。本来、河川の堤防は洪水防御を第一の目的に建設されるのですが、そう考えると「寛文新堤」の構造には多くの矛盾がでてきます。「寛文新堤」の建設の謎を、河川周辺の歓楽街の誕生という事実をもとにとらえてみます。

第7回
10/14
(土)

大政奉還とは何か

青山 忠正氏 (佛教学 歴史学部 教授)



慶応3年(1867)10月14日、将軍徳川慶喜は、朝廷に対し、「政権を帰し奉り」とする上表を呈し、翌日、朝廷は天皇の名において、これを聴許しました。慶喜は、この時、何を返したのでしょうか。具体的な政治状況において、政権奉還によって、何がどう変化したのかを考えてみましょう。

第6回
9/16
(土)

禁門の変と幕末京都

～戦災とその実態

笹部 昌利氏 (京都産業大学 文化学部 助教)



幕末京都は、まさに異常事態。文久3年8月におこった政変によって、中央政界から追い落とされる形になった長州藩毛利家による権威回復の流れのなかで、元治元年7月、幕府、在京大名家との間で交戦状況となりました。武家の理由でおこった戦乱によって、京の町は焼け野原になってしまいました。そのような戦災を民衆はどのように受け止めたのでしょうか。考えていきましょう。

第8回
11/18
(土)

神仏分離

～〈寺院〉と〈神社〉の明治維新

青谷 美羽氏 (京都造形芸術大学 非常勤講師)



政府が打ち出した神仏分離の政策は、京都のまちに数多く存在し、人々の支えとなった信仰の場のありようを一変させました。信仰の対象は〈神〉と〈仏〉いずれかに区別され、神のための場は〈神社〉、仏のための場は〈寺院〉であることが意識されるようになります。その過程でさまざまな摩擦や障害も生じました。本講座では延暦寺や八坂神社、修験道の本山である聖護院などの例を通じ、その時なにが起こったのかを明らかにしてゆきます。

みやこ 2017年度京カレッジ 京都力養成コース 京都学講座

その時京都が動いた ～江戸から明治へ～ 基本講座10回

午前コース 10:00~11:30 午後コース 12:30~14:00 ※両コースとも同じ内容 ※実地講座は別途お申込みと参加費が必要

第1回
5/20
(土)

京都の変革期—中世・近世から近代への景観の変容
～秀吉の都市改造・聚楽第城から藩邸の形成へ
天野 太郎氏 (同志社女子大学 現代社会学部 教授)



京都は中世—近世への秀吉の都市改造によって、その都市構造が大きく変化しました。それはまた、聚楽第城下町をはじめとする京都の変化でもありました。それらの変化について、近世に作成された「京大絵図」をはじめとする古地図類を中心にみていながら、幕末から近代京都へと、都市構造がどのように変化し、新しい京都が生まれて行ったのか、そのうごきについてみていきます。

第2回
6/3
(土)

伏見「首都」計画
～豊臣秀吉の政権中枢と社会構想
梅林 秀行氏 (京都高低差崖会 崖長)



豊臣政権の中枢として築かれた伏見城と城下町には、新たな社会のイメージが表現されていました。まさしく「首都」としての伏見のすがたです。ダイナミックな都市計画と地形改造がなされた伏見から、近世社会の出現を考えていきましょう。さらにその後の伏見がどのような変遷を遂げていったのか。「首都」から「交通都市」、そして「郊外」へと変遷するまちのすがたも読み解いていきます。

第3回
6/24
(土)

二条城とは何か
～家康と家光(秀忠)の視点を中心に
後藤 玉樹氏 (京都市文化市民局元離宮二条城事務所 担当課長)



二条城は、徳川家康が将軍補任に際して創建し、家光(秀忠)が寛永行幸に際して現在の姿に改めました。それぞれの趣旨や目的の違いが、どのように縄張りや反映されたのかを、今に残る資料を基に彼らの視点で考えます。また、二条城が果たした役割や、家康創建と考える二の丸御殿の価値や意義を、類例との比較を通じて明らかにします。

第4回
7/29
(土)

徳川家康と知恩院
今堀 太逸氏 (佛教学 歴史学部 教授)



家康が知恩院に大伽藍を造営し菩提所としたのは、先祖が知恩院住職として天皇の帰依を受け、浄土宗総本寺の地位を確立したことによります。①三河松平家と知恩院、②徳川三代将軍と知恩院、③徳川家の女性と知恩院、を考察することで、元禄10年、知恩院が法然上人に「円光大師」号を賜り、京の町の平和と繁栄を象徴する伽藍として隆盛する歴史を検討します。

第9回
12/9
(土)

画家たちの明治維新
田島 達也氏 (京都市立芸術大学 美術学部 教授)



狩野派、土佐派、円山四条派など、多くの画家たちが活躍した江戸時代後期の京都画壇。その経済を支えていた宮廷、寺社、町人の状況は明治維新で一変します。天皇は東京に移り、寺院は荒廃し、産業は新時代への対応を模索する中、画家たちはどのように生き延びたのでしょうか。画家団体如雲社、工芸との関係、博覧会出品、画学校設立、東京進出などをキーワードに、竹内栖鳳ら京都の日本画家が輝きを取り戻すまでの活動を追います。

実地講座1
7/15
(土)

二条城探訪

松本 直子氏 (京都市文化市民局元離宮二条城事務所 学芸員)
後藤 玉樹氏 (同 担当課長)



講座予定時間 10:00~12:00(現地集合・解散)
参加費 1,200円
定員50名(応募多数の場合は抽選)
二条城二の丸御殿は、城郭御殿の建築と障壁画がともに遺されている貴重な文化財です。将軍の威光を示す空間はどのように作り出されているのか、御殿を実際に歩きながら体感していただきます。「展示・収蔵館」では重要文化財の障壁画原画を鑑賞し、また、今回特別に模写画を制作している現場を見学いただき、将軍の御殿を飾った狩野派障壁画の魅力を探ります。

第10回
1/20
(土)

京都の学校事始め
～学都京都の誕生 校舎の建築からみる
川島 智生氏 (京都華頂大学 現代家政学部 教授)



小学校から大学までの教育施設の誕生と展開、現在に至る過程を近代史ならびに校舎の建築をとらえてみていきます。その視点はプランやデザイン、設計した建築家、学区等地域との関係から解明したいと思います。取り上げる学校は番組小学校に加え、京大・龍谷・同志社・平安女学院・工芸繊維・大谷・旧市美術大などの現存する歴史的校舎を持つ高等教育施設、また鳥羽、鴨沂、日吉など中等教育施設をも対象としていきます。

実地講座2
12/2
(土)

歴史都市伏見の町と建築を歩く
～濠川と酒蔵街を高低差からみる

川島 智生氏 (京都華頂大学 現代家政学部 教授)
梅林 秀行氏 (京都高低差崖会 崖長)



講座予定時間 13:00~16:30(現地集合・解散)
参加費 2,600円
定員45名(応募多数の場合は抽選)
歴史都市伏見の町と建築を、高低差の観点から見つめ直します。月桂冠大倉記念館での講義と試飲(約1時間半)の後、昭和蔵と旧北蔵の間を濠川に沿って歩きます(約2時間)。北蔵や昭和蔵の敷地には江戸時代に各藩の屋敷があり、船着き場が引き込まれていました。その痕跡から、過去の地形がどのように受け継がれてきたのかを探ります。同時に戦前までに建設された酒蔵などの近代建築の魅力に触れていきます。

※講座内容は都合により一部内容を変更する場合があります。